2012年度

幹事長杯争奪新人戦・引退戦・最終戦

期日：2012年11月10日（土）・11日（日）

場所：宮の沢屋内射撃場

主催：日本学生ライフル射撃連盟　北海道支部

大学名：

氏名：

**大会次第**

集合 11月10日（土）　午前 9:00

開会式 11月10日（土）　午前 9:15～ 司会：儀間　修己(総務幹事)

開会の辞 大日向　佑介 （副幹事長）

 大会委員長挨拶 土橋　隆一 （北海道支部長）

 優勝杯返還 北海道大学

選手宣誓 北海道大学

競技委員長注意 鍋田　志生

競技種目 10mエアーライフル立射60発競技（ＡＲS60MW）

 10mエアーライフル立射女子40発競技（ＡＲS40W）

　　　　10mエアーライフル伏射60発競技（ARP60）

 10mエアーライフル3×20発競技(ＡＲ3×20)

 10mエアーライフル膝射20発競技(ＡＲK20)

 10mビームライフル立射60発競技（BRＳ60）

競技日程　 これらは、別記のとおりとする。

閉会式 11月11日（日）　16:30～ 司会：儀間　修己(総務幹事)

成績発表 川﨑　雅和 (総務）

講評　　 土橋　隆一　　(支 部 長）

閉会の辞 大日向　佑介　 (副幹事長）

　　　　　表彰

 新人戦S60 団体 優勝杯：1位

 個人 　トロフィー ：3位まで 賞状：6位まで

 引退戦S60 個人 　トロフィー： 3位まで 賞状：6位まで

　　最終戦S60、S40　個人 　トロフィー　 　：　1位　　　 賞状：3位まで

ARP60,AR3×20

ARK20 個人　　　　楯 :1位 　　　　　 　　　　賞状：3位まで

BR S60MW　　　　　　個人　　　　賞品：3位まで　　　　　　　賞状：3位まで

**競技日程**



**大会要綱**

１. 参加資格

品位と名誉を重んじ、礼儀と規律を守り、スポーツマンの模範となるような健全な精神を持ち、開催全種目とも、学連北海道支部加盟校の射撃部員または、学連会議において参加が認められたもの。

２. 参加申し込み方法

参加申し込みは、参加申し込み受付期間中に、参加料・メンバー表を添えて各大学単位で申し込むこと。

３. 参加料

1種目　　　　　　　 　　　　　　2,000円

2種目以降1種目毎　　　　1,000円

K20　　　　　　　　　　　　　　　500円

BR　　　　　　　　　　　　　　　1,000円

４. 射座割り、仕事割り

これらは、別記のとおりとする。

５. 競技上の注意

競技は、2011年度版競技規則集第2巻、及び慣例に則って行う。

（１）服装・銃器

1. 銃撃開始前に、用具検査を受けなければならない。
2. 用具検査は、大会期間中いつでも受けることができる。用具検査は用具検査室にて行う。
3. 用具検査は2011年度版競技規則集第2巻、及び慣例に則って行う。
4. 不体裁な服装をしているもの、あるいは規格外の銃器を使用している者は出場を禁止することがある。

６. ファイナル進出の可否が問われる順位決定

国内規定に基づきシュートオフは行わず、競技規則集6.14.1を適用し決定する。

７. 抗議

（１）競技に関する抗議は、その事態発生後30分以内に主将名で文書にて競技委員長宛に提出すること。

（２）審査に関する抗議は、発表後10分以内に主将名で文書にて競技委員長宛に提出すること。

（３）抗議は、文書および口頭に係わらず一件につき25ユーロ（3,000円）とする。抗議が認められれば抗議料は返却する。

8.　安全規定

日本ライフル射撃協会国内危害予防規定並びに競技規則6.2の安全規定を遵守のこと。これらの規定に違反したときはジュリー団の多数決により警告を経ずに減点、失格を科すことがある。

**参加上の注意**

 １. 標的の記入には十分注意して、黒のボールペンまたはサインペンを使用し、不適格な場合は修正したあと必ず訂正印を受けること。訂正印なきものは無効となることがある。標的についてのミスはすべて射手の責任とする。

 ２. 出場選手の変更をしようとする場合や棄権をする場合は、「射座変更・棄権申請書」を競技開始の10分前までに競技委員長宛に届けること。いずれの場合も届け出がなければ失格とする。なおこれらの届出は学連指定の用紙を使用すること。

 ３. 射手の遅刻は競技開始後何分でも認める。但しファイナルにおいては出頭に遅刻した場合減点とし、選手紹介に遅刻した場合ファイナルへの参加は認められない。

 ４. 射撃線より前方に人がいない限り、空撃ち・照準練習は行っても良い。ただし実弾を発射してはならず、競技進行の妨げとならないようにすること。

 ５. 審査室内では飲食・喫煙は禁止。

 ６. 大会の円滑な運営に関わるので、各大学とも割り当てられた仕事には責任を持つこと。

 ７. 危険防止について参加選手は勿論、各大学主将もその責任において十分注意を払うこと。

 ８. 審査中は、審査室への出入りを禁止する。

 ９. 射座後部は通路になっているが、競技中は静かにすること。

 １０. 宮の沢屋内競技場は土足厳禁となっているので、入り口で上履きに履き替えること。但し、スリッパ・サンダルは禁止する。

 １１. 宮の沢屋内競技場では、ゴミの分別収集を行っているのでゴミを捨てる際にはきちんと分別し、指定されたゴミ入れへ捨てること。

 １２. 射場内（２階）禁煙。

 １３. 用具検査は用具検査室にて行う。

　14.　 準備のため射座へ入るときは競技開始30分前より入ることが出来るものとする。

15.　段級を受験するものは競技開始前に段級幹事まで申し出ること。

**射座割り**



**仕事割り**



**大会役員**



────────────────────────

2012年度

日本学生ライフル射撃連盟北海道支部

幹事長杯争奪新人戦・引退戦・最終戦

公式パンフレット

────────────────────────

発行日 2012年11月10日

発行者 日本学生ライフル射撃連盟北海道支部

　　　　　　　　　　　　　　幹事長　　　鍋田　志生

編集・作成　　 企画幹事　佐々木　智也